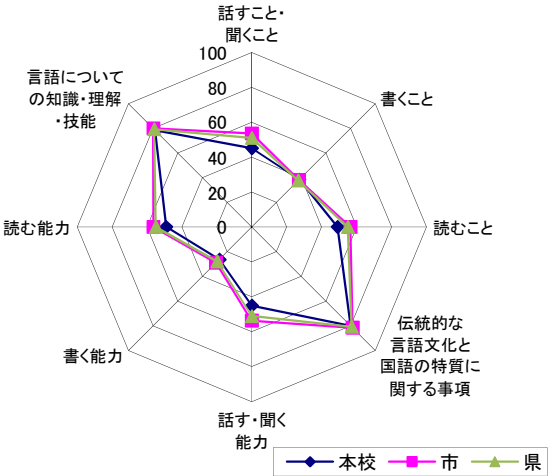


宇都宮市立清原東小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	45.1	53.6	51.0
	書くこと	38.5	38.1	37.6
	読むこと	49.1	56.4	55.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.0	81.6	80.9
観点	話す・聞く能力	45.1	53.6	51.0
	書く能力	26.3	29.0	28.0
	読む能力	49.1	56.4	55.0
	言語についての知識・理解・技能	78.3	79.9	79.1



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●平均正答率は、市平均を下回っている。 ○互いの考えの共通点や相違点を整理して聞くことの正答率はほぼ県平均と同等である。 ●話し合いの進め方の工夫について解答する問題への理解が不十分である。	・話し合いの進め方の型を提示し、実際に話し合いの場面を多く設け、その中で話し合いの進め方を理解させるようにする。 ・話の聞き方や聞くときの姿勢と態度について指導し、定着を図る。
書くこと	○平均正答率は県、市平均ともに上回っている。 ○与えられたテーマに対する記事を、条件に合わせて書くことの正答率は、県平均とほぼ同等である。 ●相手に分かりやすく説明するため適切な資料を提示することの正答率は、県平均を下回っている。	・順序立てて文章を書く練習をし、意図を明確にして文章を書くことや、相手に分かりやすく説明するなどの言語活動を充実させる。 ・段落に分けた作文を書く機会を多く設け、書く力の向上を図る。
読むこと	●平均正答率は、市平均を下回っている。 ○目的や必要に応じて、段落相互の関係をとらえることの正答率は、県平均を上回っている。 ●叙述を基に場面の様子を読むことの正答率は、県平均を下回っている。	・朝の読書、家庭での読書を推進し、文章に親しむようにさせる。 ・段落ごとに要点をまとめ内容を理解するとともに、段落と段落の関係をとらえさせて、文章全体の構成を考えさせるような学習活動を増やしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●平均正答率は市平均を下回っている。 ○前学年の漢字の読みの正答率は、90%を超えている。 ●漢字辞典の使い方の理解が不十分である。	・国語辞典、漢字辞典を活用する機会を増やして、辞書の使い方の習熟を図る。 ・朝の学習や家庭学習で今まで習ってきた漢字も含めて練習を継続して行い、定着を図る。 ・文章を書くときに、習った漢字をできるだけ使い、修飾語も工夫して詳しく表現できるよう指導していく。